



2022年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月14日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所 東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第2四半期の連結業績(2021年6月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第2四半期	5,588		523	31.6	511	34.8	351	38.8
2021年5月期第2四半期	5,141	17.7	764	142.3	785	150.7	574	221.7

(注) 包括利益 2022年5月期第2四半期 324百万円 (44.9%) 2021年5月期第2四半期 588百万円 (206.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第2四半期	71.02	
2021年5月期第2四半期	116.39	

(注) 「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用した数値となっており、当該会計基準の適用により大きな影響の生じる売上高の前年同期比は、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第2四半期	10,580	6,147	57.3
2021年5月期	11,847	5,780	47.5

(参考) 自己資本 2022年5月期第2四半期 6,066百万円 2021年5月期 5,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期		0.00		10.00	10.00
2022年5月期		0.00			
2022年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年5月期末配当金の内訳 普通配当金5円00銭 特別配当金5円00銭

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,878		374	45.8	362	51.1	127	78.1	25.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用した数値となっており、当該会計基準の適用により大きな影響の生じる売上高の前年同期比は、記載していません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) CYBORG009 CALL OF JUSTICE製作委員会

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年5月期2Q	5,055,400 株	2021年5月期	5,055,400 株
期末自己株式数	2022年5月期2Q	109,033 株	2021年5月期	109,033 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年5月期2Q	4,946,367 株	2021年5月期2Q	4,935,057 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことにより、感染者数は減少し緊急事態宣言等は解除され、企業の収益や設備投資の持ち直し、個人消費にも明るい兆しが見えています。一方で、新たな変異ウイルスの感染が海外で広がっていることから、国内外の感染症の動向に十分注意する必要があります。先行きについては不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

また、「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用した数値となっており、当該会計基準の適用により大きな影響の生じる売上高の前年同期比は記載しておりません。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,588,063千円、経常利益は511,684千円(前年同期比34.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は351,315千円(前年同期比38.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「王様ランキング」「プラチナエンド」等、配信用アニメーション「スター・ウォーズ：ビジョンズ」、その他CM用・遊技機用のアニメーションを納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化やクオリティーの重視等により制作赤字となっておりますが、制作予算策定に於ける精度の向上と予算に合った受注額の交渉により、営業利益は改善傾向にあります。

以上により、当事業の売上高は2,759,883千円、営業損失は81,399千円(前年同期は210,891千円の営業利益)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 16巻」「リンカーネーションの花弁 14巻」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～ 4巻」等、定期月刊誌6点、並びに新刊コミックス・書籍55点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「リンカーネーションの花弁」「魔道具師ダリヤはうつむかない～Dahliya Wilts No More～」は、特に販売好調でありました。電子書籍売上が前年対比70%増で推移しており全体売上の60%を占める金額となっております。

以上により、当事業の売上高は1,356,475千円(前年同期比47.5%増)、営業利益は366,563千円(前年同期比129.5%増)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「海賊王女」「進撃の巨人」「GREAT PRETENDER」「ハイキュー!!」「攻殻機動隊」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

大型作品の公開や放映などにより、前年同期と比較し映像マスター及びコンテンツ資産の減価償却費が増加しました。

以上により、当事業の売上高は1,357,784千円(前年同期比9.1%増)、営業利益は330,577千円(前年同期比28.1%減)となりました。

④ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売、スマートフォン向けアプリ等により、当事業の売上高は113,919千円(前年同期比3.7%減)、営業損失は42,392千円(前年同期は6,846千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,267,419千円減少して10,580,575千円となりました。主な要因は受取手形、売掛金及び契約資産（前連結会計年度末は受取手形及び売掛金）が1,886,759千円増加し、一方、仕掛品が2,929,695千円、コンテンツ資産が353,845千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,634,107千円減少して4,433,112千円となりました。主な要因は長期借入金が200,000千円増加し、一方、前受金が1,853,026千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ366,687千円増加して6,147,462千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が442,272千円増加し、一方、非支配株主持分が76,724千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ4,880千円増加し、4,500,625千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、414,209千円(前年同期は2,107,074千円の増加)となりました。これは主に、棚卸資産の減少が2,911,373千円、減価償却費が740,970千円、税金等調整前四半期純利益が488,664千円、一方、売上債権の増加が1,886,730千円、前受金の減少が1,853,026千円、法人税等の支払が164,495千円、未払消費税等の減少が147,619千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、506,556千円(前年同期は781,670千円の減少)となりました。これは主に、コンテンツ資産等の無形固定資産の取得による支出が237,734千円、映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が214,262千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、95,727千円(前年同期は119,862千円の増加)となりました。これは主に、長期借入による収入が200,000千円、一方、配当金の支払額が50,251千円、非支配株主への配当金の支払額が48,719千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月期の業績予想につきましては、出版事業の収益が上振れたことにより2021年7月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日(2022年1月14日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505,861	4,510,742
受取手形及び売掛金	1,225,181	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,111,941
商品及び製品	104,222	122,105
仕掛品	2,959,604	29,909
貯蔵品	8,165	8,604
前渡金	126,500	170,500
その他	122,069	225,518
貸倒引当金	△395	△386
流動資産合計	9,051,210	8,178,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	407,285	396,688
土地	651,619	651,619
映像マスター（純額）	399,839	328,700
その他（純額）	76,892	70,368
有形固定資産合計	1,535,636	1,447,377
無形固定資産		
コンテンツ資産	776,086	422,240
その他	15,396	13,560
無形固定資産合計	791,483	435,801
投資その他の資産		
投資有価証券	170,500	194,076
その他	299,163	324,385
投資その他の資産合計	469,664	518,461
固定資産合計	2,796,785	2,401,640
資産合計	11,847,995	10,580,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	722,217	802,596
未払金	644,347	672,713
未払法人税等	171,618	162,232
前受金	3,202,252	1,349,225
預り金	403,589	456,084
賞与引当金	—	1,250
役員賞与引当金	73,895	4,910
返品調整引当金	52,413	—
受注損失引当金	179,703	148,588
その他	367,163	382,508
流動負債合計	5,817,200	3,980,109
固定負債		
長期借入金	—	200,000
株式給付引当金	29,928	29,928
退職給付に係る負債	73,309	77,053
役員退職慰労引当金	66,311	71,305
その他	80,470	74,716
固定負債合計	250,019	453,003
負債合計	6,067,220	4,433,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,186,440	2,186,440
利益剰余金	2,849,505	3,291,778
自己株式	△189,732	△189,732
株主資本合計	5,627,713	6,069,986
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,235	△3,095
その他の包括利益累計額合計	△4,235	△3,095
非支配株主持分	157,296	80,571
純資産合計	5,780,774	6,147,462
負債純資産合計	11,847,995	10,580,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
売上高	5,141,289	5,588,063
売上原価	3,758,089	4,360,937
売上総利益	1,383,200	1,227,125
返品調整引当金戻入額	18,570	—
差引売上総利益	1,401,770	1,227,125
販売費及び一般管理費	637,135	704,085
営業利益	764,634	523,040
営業外収益		
受取利息	712	189
受取賃貸料	9,614	9,883
補助金収入	24,128	—
その他	712	1,262
営業外収益合計	35,168	11,335
営業外費用		
支払利息	352	253
為替差損	7	1,110
賃貸収入原価	8,193	4,741
知的財産関連費用	4,354	2,779
投資事業組合運用損	—	1,295
持分法による投資損失	—	12,369
その他	1,784	143
営業外費用合計	14,692	22,691
経常利益	785,109	511,684
特別損失		
減損損失	9,704	23,020
特別損失合計	9,704	23,020
税金等調整前四半期純利益	775,405	488,664
法人税、住民税及び事業税	169,445	161,579
法人税等調整額	15,780	3,775
法人税等合計	185,225	165,354
四半期純利益	590,179	323,309
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15,807	△28,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	574,371	351,315

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	590,179	323,309
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,680	1,139
その他の包括利益合計	△1,680	1,139
四半期包括利益	588,498	324,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	572,690	352,454
非支配株主に係る四半期包括利益	15,807	△28,005

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	775,405	488,664
減価償却費	469,716	740,970
減損損失	9,704	23,020
長期前払費用償却額	810	890
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△180	△9
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△18,570	△52,413
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△56,358	△31,114
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,249	1,250
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34,662	△68,985
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△62,292	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△946	3,744
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,644	4,994
受取利息及び受取配当金	△712	△189
補助金収入	△24,128	—
為替差損益 (△は益)	7	1,110
支払利息	352	253
売上債権の増減額 (△は増加)	13,011	△1,886,730
棚卸資産の増減額 (△は増加)	279,787	2,911,373
立替金の増減額 (△は増加)	103,411	342
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,524	80,232
未払金の増減額 (△は減少)	149,686	92,082
預り金の増減額 (△は減少)	△41,490	52,494
前受金の増減額 (△は減少)	273,319	△1,853,026
前受収益の増減額 (△は減少)	719	—
前渡金の増減額 (△は増加)	△17,268	△44,000
未収消費税等の増減額 (△は増加)	27,866	△98,950
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47,890	△147,619
その他	313,913	360,432
小計	2,251,413	578,817
利息及び配当金の受取額	712	189
利息の支払額	△350	△302
補助金の受取額	24,128	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△168,829	△164,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,107,074	414,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
有形固定資産の取得による支出	△289,016	△214,262
無形固定資産の取得による支出	△492,658	△237,734
保険積立金の積立による支出	△1,658	△1,658
差入保証金の差入による支出	△20	△27,902
その他	1,683	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781,670	△506,556

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
配当金の支払額	△24,893	△50,251
非支配株主への配当金の支払額	—	△48,719
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,243	△5,301
非支配株主からの払込みによる収入	150,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,862	95,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,060	1,500
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,439,205	4,880
現金及び現金同等物の期首残高	3,629,582	4,495,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,068,788	4,500,625

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,858,793	919,499	1,244,725	5,023,018	118,270	5,141,289
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,858,793	919,499	1,244,725	5,023,018	118,270	5,141,289
セグメント利益又はセグメント損失(△)	210,891	159,751	459,564	830,207	△6,846	823,360

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	830,207
「その他」の区分の損失(△)	△6,846
全社費用(注)	△58,726
四半期連結損益計算書の営業利益	764,634

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失9,704千円を計上しておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年6月1日 至 2021年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
TV・配信・ビデオ用のアニメ 映像制作	1,664,406	—	—	1,664,406	—	1,664,406
劇場用のアニメ映像制作	675,233	—	—	675,233	—	675,233
その他のアニメ映像制作	420,243	—	—	420,243	—	420,243
コミック・書籍の出版販売	—	430,563	—	430,563	—	430,563
電子書籍の販売	—	925,911	—	925,911	—	925,911
映像コンテンツの著作権料	—	—	974,092	974,092	—	974,092
出版物に係る原作印税収入	—	—	88,551	88,551	—	88,551
その他	—	—	21,229	21,229	113,919	135,149
顧客との契約から生じる収益	2,759,883	1,356,475	1,083,874	5,200,233	113,919	5,314,152
その他の収入	—	—	273,910	273,910	—	273,910
外部顧客への売上高	2,759,883	1,356,475	1,357,784	5,474,143	113,919	5,588,063
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,759,883	1,356,475	1,357,784	5,474,143	113,919	5,588,063
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△81,399	366,563	330,577	615,741	△42,392	573,348

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 「その他の収入」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配などの企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	615,741
「その他」の区分の損失(△)	△42,392
全社費用(注)	△50,307
四半期連結損益計算書の営業利益	523,040

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失23,020千円を計上していません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第2四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更してあります。

当該変更により、従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間の「映像制作事業」の売上高は1,364,962千円増加、セグメント利益は142,647千円増加し、「出版事業」の売上高は2,877千円減少、セグメント利益の影響額はありません。また、「著作権事業」の売上高は43,394千円減少、セグメント利益は1,504千円減少してあります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。